

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	久米島町			代表者名	桃原秀雄
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画財政課	連絡先電話番号	098-985-7122
担当者役職	主事	担当者氏名	村吉奈緒美	連絡先E-mail	
住所	901-3193 沖縄県久米島町2870				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	自治体DX推進事業
概要	久米島町DX推進計画に位置付けられた「町民サービスの改革」「職員の働き方・風土改革」を推進するため、R7年度お客様視点の窓口改革、業務改善といった変革に対応できる職員の育成を図ります。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	859	令和8年2月24日	フォローアップ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月17日	フォローアップ(オンライン)	13時30分	15時00分	
			活動時間（分）	90	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回、3回目の支援はフォローアップということで、今年度受けた研修後の職員の動きや、考え方が変わった職員がいる旨を伝えた。またDXが身近なものであり、Xを進める重要性に気づけたことで、課題も見つかり、次年度以降の体制や行うべきポイントのアドバイスをいただいた。課題主義になりがちだが、どういう窓口にしたいか等の理想を描くことの大切さも改めて、教えていただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	4人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和5年度に久米島町DX推進計画を策定をし、令和7年度にDX推進本部やワーキンググループ（有志メンバー）の立ち上げを行い、着実に進めてきている状況ではあるものの、ジブンゴトとして捉えている職員が少ない。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	スモールスタートをして、成功体験を積み重ねていくことで、巻き込む職員を増やしていく。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の体制についてのアドバイス (CDO補佐官について：下呂市の状況を参考として伺いながら、久米島町モデルのCDO補佐官へのアドバイスをいただいた) ・越境機会を設ける (ワーキンググループに対してもDXを進める上では、共創PFなど他自治体とのつながりも必要であること、研修や視察などのアドバイスをいただいた) ・庁内でDX推進の鍵として、人事、財政、行革、デザイン (広報) のメンバーが大切であること ・職員研修としてDXとはを1年間で学び、それを発表するという流れをとるなど、楽しみながら学ぶ環境を提供することで、周りを巻き込みやすくなる ・下呂市の事例を踏まえ、デジタルツールの普及課題を共有いただき、今後も本町でも起こることを鑑みて進めていく必要があり、今後も意見交換を行っていきたい。 ・DX推進計画の見直し、総合計画等のサイクルに合わせて考えるとよい (検証も含め) 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今年度ワーキンググループは任意で、かつインセンティブ (人事評価に直接つながること) は無かったが、1年間ワーキンググループを動かしてみてもの感触や取り組みについてアドバイザーに伝えていた結果、やはりインセンティブがないと継続しづらくなるというお話もいただいた。次年度は視察や研修も含め他自治体と繋がる環境を作ったり、デジタルツールの有料アカウントを付与するなどを検討しているため、大きな一歩となると感じた。※職員が楽しみながら学びたい機会と考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="radio"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<input type="radio"/> -	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート無し/事務局等の関係者のみでのフォローアップのため。	
4-3. 今後の計画	<input type="radio"/> 最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="radio"/> ②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	原課の枠にとらわれない横展開で推進することができるDX推進リーダーの発掘、育成 (5人程度) を行う。全庁での推進、共通理解を深めることで、行政サービスの維持・強化を行うことができ、さらなる住民満足度を上げ、業務改善へと繋げていく。	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> ○掲載可 <input type="checkbox"/>		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
<p style="color: red;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
Empty space for pasting photos		